



泉小だより

合言葉「笑顔であいさつ、すすんで学ぶ、泉の子」

令和3年9月17日

No. 5

佐久市立 泉小学校

2学期始業式の校長講話「オリンピズムの精神から学んだこと」

さて、1学期の終業式では、この夏休み期間に行われた東京オリンピックについてのお話をしました。オリンピックは「いじめや差別や暴力のない、みんな一人ひとりを大切にする平和な社会」を目指す「オリンピズム」の精神を大切にしているということと、「どんなところでオリンピズムが大切にされているのか、考えながら見て欲しい」と話しましたが、みなさんは見つけられたでしょうか。私は、新しくオリンピック種目になった「スケートボード」の試合を見ているときに、一つ見つけることができました。今日は、その話をします。

この写真を見て下さい。オレンジ色の服を着た、日本人の選手が肩車されています。この肩車されている選手の名前は、岡本碧優（おかもとみずぐ）さんと言います。「スケートボード女子パーク」という種目で、予選では1位の成績だった岡本さんですが、決勝では、4位となり、メダルには手が届きませんでした。

でも岡本さんは肩車されています。どうしてでしょうか。それに、肩車をしている人たちは誰なのでしょう。ここで、みなさんに岡本さんの決勝での滑りを見てもらいたいと思います。

岡本さんの実力ならば、最後に失敗してしまったあの大技をしなくても、十分にメダルを取れるチャンスがあったようです。でも、岡本さんは、自分のベストをつくり、あえて難しい技にチャレンジしました。岡本さんの周りに集まり肩車した選手たちは、失敗をなぐさめるというより、岡本さんのチャレンジの素晴らしさをたたえているのでしょう。

映像では、「“仲間たち”に支えられて泣き笑い」というアナウンスが入っていましたが、岡本さんの周りに集まり、肩車している人たちは、この種目で技を競い合った「いろいろな国の選手」たちです。相手が失敗をすれば、自分が有利になるという「敵同士」の立場なのに、岡本さんの周りに集まって、肩車しているのはなぜなのか。そのヒントが、この種目で銀メダルをとった開心那さんのインタビューの中にありました。ある番組で、「スケートボードの選手のみなさんは、お互いが敵同士なのに、みんな仲がいいですね」と尋ねられた開さん。開さんの答えは、「敵とは思っていません。みんなスケートボードの友だちです。」というものでした。きっと、岡本さんの周りに集まり肩車した選手たちも、開さんと同じ気持ちだったのでしょう。肩車をされた岡本さん自身も「肩車をされて、すごく気持ちが落ち着き自然と笑顔が出ました。ガールズスケーターのみんなの“友情”に感謝です」と話しています。

そもそも、スケートボードの大会では、選手は個人で参加するので、どこの国の選手なのか関係なしに、技が成功すればみんなで喜び、失敗すれば自分のことのように悔しがる文化があるのだそうです。「オリンピズム」の精神が自然に実現されているようで、ステキですね。

スポーツに限りませんが、勝ち負けにこだわると、いつの間にか、相手のミスを願ったり失敗を喜んだりする、いやな気持ちが自分の中にわいてきてしまうことがあります。でも、開さんや岡本さんたちのように、相手を「敵ではなく、友だち」と考えられればどうでしょう。相手の成功を素直に受け止めて、自分は自分のできることをがんばろうという前向きな気持ちを持てるのではないかと。スケートボードの試合を見ながら、そんなことを考えさせられました。

さて、今日から長い2学期が始まります。新型コロナウイルスについては、佐久市もレベル5の状態が続いています。改めて、手洗い・マスク・換気など、これまで行ってきた感染対策をしっかりと続けて行っていきましょう。



オンラインを利用した校長講話

9月・10月の主な行事予定

【9月】

- 20日（月）敬老の日
- 23日（木）秋分の日
- 25日（土）PTA作業（2組）
- 29日（水）5年登山キャンプ1日目
- 30日（木）5年登山キャンプ2日目

※各行事とも、今後の感染警戒レベルによって、延期または中止にする場合があります。

【10月】

- 1日（金）計画休業 先生方の会議のため
- 4日（月）安全点検日
- 5日（火）児童会 音楽会特別時間割開始
- 8日（金）計画休業 先生方の会議のため
- 14日（木）就学時健康診断
- 18日（月）合同街路指導
- 19日（火）尿検査①
- 20日（水）尿検査②
- 22日（金）音楽発表会（学年単位による発表）
- 26日（火）クラブ③

群馬県上野村の黒澤さんから心温まるお便りをいただきました

9月3日（金）に、黒澤千代栄さんという方から、学校に段ボール箱が一つ届きました。中を開けてみると、手紙と写真と新聞記事とサッカーボールが入っていました。その手紙には、次のように書かれていましたので、紹介します。子どもたちは何を思うのでしょうか。

泉小のみなさまへ

初めまして。今年も朝顔の花が咲き、お客様がととてもよろこんでいます。又、五年前、臼田君が風船でとばした種をまき、毎年きれいに咲いています。臼田君も早いもので、中学二年生ですね。おばさんも元気で旧黒澤家で働いています。泉小学校のみなさんも夏休みも終わり、元気に学校へ通っていることでしょう。

これからもコロナの病気がありますので、気をつけて過ごして下さい。又みなさんに、サッカーボール2つを送りますので、みなさんで仲良く使って下さいませ。今年のアサガオの写真を送りますので、よろしくお祈りします。

千代栄より



大事にアサガオを育てて下さっている黒澤さん

上野 2016年5月に長野県佐久市の小学生が飛ばした風船に付いていた種から育てたアサガオが、上野村檜原の国指定重要文化財「旧黒沢家宅」で鮮やかな花を咲かせた。写真。同住を管理する黒澤千代栄さん(78)が同年から育てており、黒澤さんは「送ってくれた子どもに今年も咲いたよと伝えてあげたい」と話している。

風船のアサガオ 今年も鮮やかに

16年に長野から飛来

当初はランタナで育てていたアサガオだが、年々発芽する苗が増え、背丈も2倍ほどに成長。朝方にレンガ色の花を咲かせ、近隣住民や訪れた観光客を驚かせている。黒澤さんによると、男は9月中旬ごろまで続くという。

(後藤遼平)



(上毛新聞記事掲載の許諾申請済み)

新型コロナウイルス感染症に係る9月13日以降の対応について

9月13日から「医療非常事態宣言」が解除され、「医療警戒」に切り替わるとともに、全県の感染警戒レベルがレベル4「新型コロナウイルス特別警戒Ⅰ」に切り替わることとなりました。

しかし、教育環境の確保を引き続き行うために以下のことについて取り組みをお願いします。

(1) 基本的な感染症対策の徹底

- ・朝晩の検温等健康チェックの実施・確認
- ・会話の際のマスクの着用
- ・こまめな換気・手洗いの実施
- ・感染リスクの高まる場所の回避

(2) 児童生徒等や家族が体調に異変を感じた場合（発熱やせき、のどの違和感、鼻水、だるさ、味覚・嗅覚の異常など）は、その間登校しない。また、同居の家族が濃厚接触者等となった場合は、当該者の陰性が確認されるまでの間、登校を控える。

発行責任者：富岡 隆二（教頭） TEL 62-0394